

肯定側立論

これから肯定側の立論を行います。

プランから発生するメリットを1点、説明します。

メリットは「誤判からの救済」です。

まず、発生過程を説明します。

1. 誤判は無くなることはありません。

弁護士の錦織淳氏は『死刑の遺伝子』1998年の中で以下のように述べています。引用開始。

「もう一つさらに具体的な例を挙げるならば、刑事裁判でも民事裁判でも再審制度が認められています。本来なら再審などあってはならないものです。(中略) そう考えると、誤判、過ちは当然の前提とされるべきであると考えべきです。そしてどう裁判制度をよくしようと、健全な司法制度をつくらうと、文明的な司法制度を作ろうとしてみたところで、これはなくなる問題なのです。(中略) 誤判の問題は死刑制度を存続するかどうかということにとって、決定的に重要な問題であると思います。」引用終了。

2. 現実に冤罪が起きています。

『日本の論点'93』より引用します。引用開始。

「戦後では一度死刑の宣告をうけてその後無罪になった例が九件(中略)、他に刑確定後も無罪を訴え、再審請求している事件も多い。」引用終了。

3. しかし、プランにより、誤判による死の可能性は完全になくなります。

次に、重要性を説明します。

誤判は絶対に許されるべきではありません。

団藤重光、東京大学名誉教授は『日本の論点'93』の中で以下のように述べています。引用開始。

「死刑存置論者は、誤判などめったにあるものではないという。死刑について誤判などざらにあってはたまったものではないが、100人に1人、1000人に1人、否、1万人に1人であっても、それは絶対に許されるべきことではないのである。人間の尊厳、個人の尊厳とはそういうものである。」引用終了。

以上で、肯定側立論を終わります。ありがとうございました。

- メリットの 제목을 짧은 표현(라벨)으로 설명한다.
- (メリット)발생과정「내인성+해결성」
- メリットの 구성①：내인성(内因性)
=플랜을 실행하고 있지 않기 때문에 현재 일어나고 있는 문제점을 설명한다.
- メリットの 구성②：해결성(解決性)
=플랜을 실행하여 어떻게 문제가 해결되는지를 설명한다.
- メリットの 구성③：중요성(重要性)
=현재 문제의 크기나 그것을 해결해야 할 중요성을 설명한다.
- メリットの 크기 = 「가능성×질×양」
가능성 = 내인성~해결성의 입증도.
질/양 = 「어떤것」이「얼마나」해결되는지.
- 여러 논의가 있는 경우는 넘버링(ナンバリング)을 한다.
- 논의 = 주장 + 근거 (이유/증거)
- 증거자료를 읽을 때는 "출처"를 반드시 읽는다. 또한 어디서부터 어디까지가 인용인지를 알 수 있게 말한다.
예) 「引用開始/引用を始めます。」 「引用終了/引用を終わります。」
- 인용 내용이 어려운 내용이면 인용 후 다시 자신의 말로 알기 쉽게 설명하면 효과적.
예) 「このように~/以上のように~/つまり～」
- 입론을 읽을 때는 특히 중요한 점을 의식하고 그것을 심판이 메모(기억)할 수 있도록 스피치한다.